

Planning and CoordinationMACHINE TIME EXECUTIONREPORT (2004-5-2 CYCLE)

Experimental Group	T574	Reporter	澤田 真也
Scheduled Period and Shift	Feb 23 to Mar 2, 2005	Main, Sub, Para	Para

Experimenters 澤田真也、高橋俊行、齊藤直人、今井憲一、三輪浩司、早田尚史、大楽誠司、中嶋大輔、藤岡宏之、丸田朋氏、他

## SUMMARY OF EXECUTION AND RESULTS

E559実験に使用するレンジカウンターを中心に、ドリフトチェンバー、エアロジェルカウンター等の動作試験を行った。レンジカウンターについては、異なる運動量の $\pi$ 中間子等を入射し、レンジカウンターとしてほぼ所期の性能を有することを確認した。ドリフトチェンバーについては異なる電圧において計数効率を測定し、いわゆるプラトーカーブを得た。E559実験では $K^+$ ビームを用いるためビームエアロジェルカウンターが高効率であることが求められるが、簡単な解析の段階で $\pi$ について99.5%以上の計数効率を得られた。いずれもより詳細な解析が進行中であり、これらの結果を5月からのE559実験に反映させるべく作業中である。

## EXECUTED MACHINE TIME, BEAM CONDITION, DOWN TIME etc.

割り当てられた20シフトのビームタイムを大きなロスなく消化させていただきました。ありがとうございました。

## COMMENTS